

資料シリーズ No.81

2026



DX 時代における職務別職業能力の体系の整備 —ものづくり分野における職務・能力の再編—

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

DX時代における職務別職業能力の体系の整備

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校基盤整備センター

はじめに

日本の経済社会は、世界に伍する技術力と、その技術力を支える人材によって発展を遂げてまいりました。資源に乏しい我が国において、質の高い労働力こそが国力の源泉であり、経済発展の基盤であります。

近年、デジタル技術の進化と社会への普及・定着は、あらゆる産業分野においてデジタルトランスフォーメーション(DX)への対応を不可欠のものとしています。国際競争力を維持・強化するためにも、DXを推進できる人材の育成は重要となっております。

また、少子高齢化の進展により労働人口が減少する中、活力ある経済社会を構築するため、全ての働く人々の職業能力を高めることが不可欠といえます。

加えて、厚生労働省において取りまとめられた「第12次職業能力開発基本計画(令和8年3月31日策定)」では、労働市場の「見える化」を進め、成長分野に必要な人材の育成・確保を戦略的に推進する重要性が示されております。

人材育成にあたっては、企業が求める職業能力を分類・整理し明確にすることで、従業員個々のスキルを的確に把握できます。これにより企業の技術力や生産力が「見える化」され、将来に向けた強み弱みも明らかとなり、過不足の無い組織的・体系的な人材育成の計画と実施が可能になります。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、企業の人材育成の取り組みを支援するため、平成11年度から各産業分野の「職業能力の体系」の整備を進めてまいりました。

この度の調査研究は、社会のDX化という新たな要請に応えるべく設定した2ヶ年計画の初年度の成果であり、次年度に予定する「DX関連要素の付加」の土台として、ものづくり分野における既存の体系データを横断的に分析・再編し、より実践的な「職務」を軸とした職業能力の体系の基盤を整備したものであります。

本資料が、業界団体や企業の皆様における人材育成環境の整備に広く活用され、我が国の「ひとづくり」に微力ながら貢献できますことを期待しております。

最後に、調査研究を進めるにあたり貴重なご知見をもってご協力いただきました委員会並びに作業部会の皆様、そして関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

2026年3月

職業能力開発総合大学校

基盤整備センター

所長 池田 秀作

**令和7年度
DX時代における職務別職業能力の体系の整備に関する委員会及び作業部会
委員名簿**

(順不同、敬称略)

委員会

氏名	所属	役職
渋谷 貴司	東京商工会議所 中小企業部	副部長
岸本 敏彰	一般社団法人 全国設備業DX推進会	副事務局長

作業部会

氏名	所属	役職
金子 健幸	青森職業能力開発短期大学校	学務援助課長
野村 哲章	静岡職業能力開発促進センター	訓練第一課長
品川 達郎	加古川訓練センター	訓練課長
屋敷 陽一	千葉職業能力開発短期大学校成田校	生産技術科 統括職業訓練指導員
村田 暁	関東職業能力開発大学校	生産機械システム技術科 主任職業訓練指導員
片山 勝也	岡山職業能力開発促進センター	電気系 上席職業訓練指導員
古賀 康之	京都職業能力開発短期大学校	電子情報技術科 上席職業訓練指導員
竹口 浩司	近畿職業能力開発大学校	建築施工システム技術科 上席職業訓練指導員
中野 健吾	熊本職業能力開発促進センター	居住系 統括職業訓練指導員
濱田 勇	職業能力開発総合大学校 職業訓練コーディネータユニット	特任准教授

事務局

氏 名	所 属	役 職
田熊 公二郎	(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 公共職業訓練部	次長
森 玲子	(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 公共職業訓練部	調査役
関 孝司	(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 公共職業訓練部 訓練支援課	課長補佐
鈴木 裕也	(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 公共職業訓練部 訓練支援課	専門役
坂尾 英行	基盤整備センター 開発部	部長
川島 敬之	基盤整備センター 開発部 高度訓練開発室	室長
宮崎 大	基盤整備センター 開発部 高度訓練開発室	開発研究員
矢野 史宏	基盤整備センター 開発部 高度訓練開発室	開発研究員

調査開発担当室：高度訓練開発室

目 次

第 1 章 調査開発概要	
第 1 節 調査開発の背景・目的	3
第 2 節 職業能力開発体系の概要と活用状況	5
2-1 職業能力開発体系の様式	5
2-2 職業能力開発体系の整備状況	5
2-3 職業能力開発体系の活用状況	8
第 3 節 調査開発の内容と実施体制	
3-1 モデルデータの課題	9
3-2 スケジュールと実施体制	9
第 2 章 職務別職業能力の体系の構築	
第 1 節 対話型生成 AI を活用したモデルデータの分析	15
1-1 ベースとなる能力体系について	15
1-2 分析に活用するモデルデータについて	16
1-3 共通基盤職務の抽出	17
第 2 節 職務分析表の作成方法と課題	19
2-1 職務・仕事・作業の整備	19
2-2 「作業に必要な主な知識、技能・技術」の整備	22
巻末資料	
●資料 1 : 「職業能力の体系」の構成	117